



## 垂水区医療介護サポートセンター ごしまろくんの サポートセンター便り 第13号

発行：垂水区医療介護サポートセンター  
住所：〒655-0038  
神戸市垂水区星陵台4丁目4-37  
垂水区医師会内  
TEL：078-785-1166  
FAX：078-785-1167

### 第10回市民フォーラム参加報告

令和6年10月14日市民フォーラムに参加しました。

定員500名がほぼ満員。動画はYouTubeエナガチャンネルで見ることができます。ぜひご覧ください。

最初から笑いの連続、最後はちょっと泣けます。若松区長名演技です。練習は8月末からほぼ毎週20時から22時超えることも。

僕は令和元年12月日本プライマリーケア連合学会近畿地方会（姫路市民会館）以来。練習で姫路でも共演した神戸薬科大学

の鎌尾先生と「久しぶりで、わくわくしますね」と意気投合。劇でしかお会いしたことのない多くの人たちと「お久しぶりです」。懐かしい木村さんの台本、監督山本先生、舞台監督清水さんの指示。練習も楽しかったです。「本番は通過点、打ち上げがゴール」の通り、打ち上げで参加者が「同じ釜の飯を食った仲間」になり、市民のための、行政を含む医療介護の多職種が太く強くなるのだと感じました。来年も、がんばるぞ！

こんどう歯科 近藤明德

この度、初めて市民フォーラムに参加させて頂きました。

仕事の後に遅くまで練習し、内心しんどいなあ、と思うこともありましたが、通し稽古を繰り返すことで、更に劇が良くなってゆき、皆で頑張って作り上げる、と言う学生の頃の文化祭みたく一体感が実感出来て楽しかったです。市民の方のアンケートでもお褒めの言葉が多く、地震災害がテーマでしたが、興味を持って観劇して頂けたのなら、本当に嬉しいです。私自身は当日まで、セリフがグダグダでした（前後のセリフ確認が不十分でした）が、本番は上手く出来て（自画自讃！）ホッとしました。直前まで必死で練習した甲斐がありました。後日、研修会等で市民フォーラムでご一緒した方とお会いした際、嬉しく、何か照れくさかったです。貴重な体験をありがとうございました。



垂水区薬剤師会

西村京子



## 市民フォーラムの報告

特定非営利活動法人エナガの会 副代表理事 山本哲也

10月14日に約6年ぶりとなる市民フォーラムが開催されました。約100名の医療・介護・福祉・行政の専門職にご協力いただき無事終了することができました。大変感謝しております。

この市民フォーラムは市民への啓蒙だけではなく、専門職が連携を深め、「顔の見える」関係を築くことを目的としています。それが達成できているか、市民フォーラムの前後でアンケートを実施しました。アンケートは阿部りらが開発した「医療介護福祉の地域連携尺度」を用いています。詳細はこれから検討予定ですが、今回は2つの項目を簡単に報告いたします。

(アンケート回答者 前：34名 後：50名)

### ①地域の関係者の名前と顔・考え方がわかる

目的が達成できているかどうかの直接的な評価項目とあります。一目瞭然、すべての項目において評価が上がっています。どの項目も満遍なく上がっていますが、一番上昇量が多かったのは「性格」です。顔の見える関係だけでなく、腹の見える関係に近づけるかもしれません。ちなみに、全国10か所のケア・カフェ®4回での上昇量は2.67⇒3.01と0.32<sup>2)</sup>であり、劇での上昇量は0.53とだいぶ大きいです。9回の練習にさらに本番と打ち上げがあったので回数はだいぶ多いですが…。

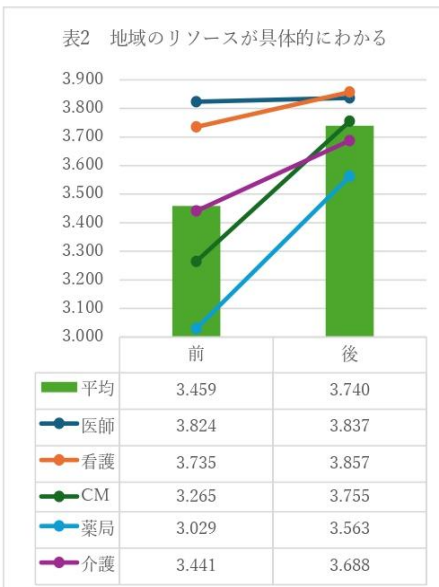
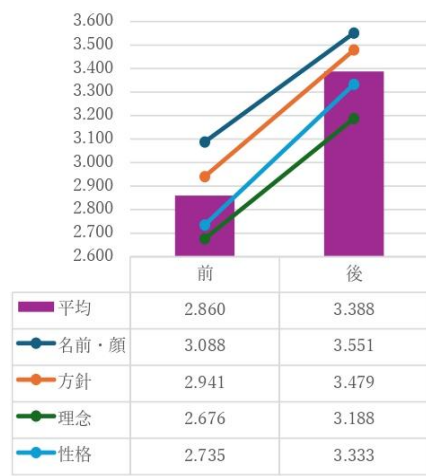


表1 地域の関係者の名前と顔・考え方がわかる



### ②地域のリソースが具体的にわかる

地域の訪問対応できる専門職がわかるかという評価になります。職種間にばらつきがあり、面白かったので報告いたします。医師・看護師については前後であまり大きな変化は見られず、ケアマネジャー (CM)、薬局、介護では大きな上昇が見られました。医師、看護師はもともとが高かったのであまり上昇がみられなかったのかもしれませんが。ケア・カフェ®のデータと比べてみると3.42⇒3.53で上昇量は0.12<sup>2)</sup>ですので劇の上昇量0.28はこちらもだいぶ大きいです。どこの薬局が在宅対応できるかあまり知られていなかったことも驚きですが…。たくさんの薬剤師の活躍により大幅上昇しました！(それでもまだ一番低い…)

動画も公開していますのでぜひご覧ください。「エナガチャンネル」で検索かQRコードご利用ください。あの日の感動をもう一度…。



## 文献

- 1) 阿部泰之他、「医療介護福祉の地域連携尺度」の開発. Palliative Care Res 2013; 8: 116-26
- 2) 阿部泰之他. ケア・カフェ®が地域連携に与える影響—混合研究法を用いて— Palliative Care Res 2015; 10(1): 134-40



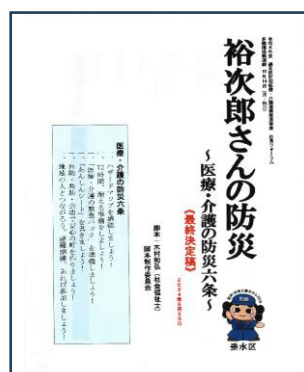
脚本担当の木村和弘（社会福祉士）です。この活動の目的の一つは地域住民に医療・介護を分かりやすく伝えることです。これで地域福祉が向上すると考えます。

私は老人保健施設の相談員でした。そこでは「利用者、家族、専門職の認識を同じにする」ことを追求しました。実現すれば、誤解やトラブルが生じることなくサービス提供できるからです。医療・介護はリスクと隣り合わせで、認識の違い等でトラブルが起きやすいです。これらは誰も幸せにしません。利用者、家族、専門職、その誰もが傷つきます。私はこれを無くしたいと思い、起こり得るリスクや急変の可能性をイラスト等で工夫を凝らし、分かりやすい説明を追求しました。

この多職種演劇活動も同じ気持ちで取り組んでいます。地域の皆様が医療・介護への理解を深めることで、効果的なサービス提供が実現すると考えるからです。

どんな人々が医療・介護に取り組んでいるのかも意識して伝えます。多職種連携では「顔の見える関係」が重要とされますが、真意は「その人の考え方や人となりが分かる」にあります。演じる専門職のユーモアや人間味、真摯に向き合う姿を伝えます。こうすることで、安心感や信頼感が増すからです。そのため、脚本は何度も何度も改定しました。協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

特定非営利活動法人エナガの会 副代表理事 木村和弘



## 第10回市民フォーラムアンケート報告

**裕次郎さんの防災**  
～医療・介護の防災六条～

市民フォーラムPar10

劇と講座

あんしんシート

キャラクター名刺

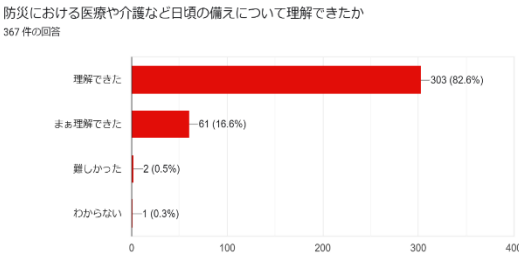
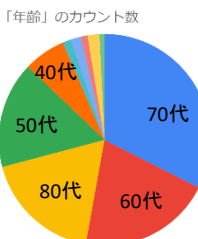
日時 2024年10月14日(月)14時～16時  
(受付開始:13時30分より)

場所 レバンテホール (豊水文化センター)  
【神戸市豊水区日向1-1-1 レバンテ舞水2階3階】

定員 先着500名 入場無料  
(申込不要)

共 催 豊水区高齢者サポートセンター、100法人エナガの会  
後 援 豊水区民会、神戸市医師会、豊水区消防団、豊水区警察、豊水区産業振興会、  
兵庫県福祉士会、兵庫県福祉士会、兵庫県福祉士会、兵庫県福祉士会、  
神戸市リハビリテーション協会、神戸市ケアサービス協会、兵庫県福祉士会、  
神戸市シルバービジネス推進協議会、神戸市老人福祉協議会、神戸市介護老人福祉協議会、  
豊水区、豊水区民会、豊水区民会、豊水区民会、豊水区民会、  
問合せ 豊水区高齢者サポートセンター 078-765-1166 10月14日(月)13時30分～16時  
TEL 078-765-1166 FAX 078-765-1166

来場参加者	481人
アンケート回収枚数	389枚 (回収率81%)



参加者の80%以上の方が、劇が「よかった」「理解できた」と回答されました。劇の目的である「市民に難しいテーマを劇で伝える」ことが達成できたと感じました。

日頃から顔の見える関係を作るのは難しいですが、劇の練習を通して、多職種の連携も図られたと思います。この関係性が、今後の業務だけでなく、非常時にも活かされることを切に願います。

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



## 研修報告

### 📎 第43回 在宅医療勉強会 📎

参加者：88名  
会場：30名  
ZOOM：58名

## 緩和ケアの実践と痛みのコントロール

～患者・利用者のQOLを高める！～

池垣クリニックの池垣淳一先生とフタツカ薬局の斎藤優子薬剤師にご講演頂きました。会場とZOOMのハイブリットで開催しました。

〈質疑応答〉

**Q.家族・本人の気持ちが常に揺れ動き、進行の速度が速いケースがある。メンタル面の寄り添いはどうしたらいいか。**

→（講師）揺れ動くのならば一緒に揺れ動くフリをする。フリをしながら、修正可能な隙を見て修正していく。

**Q.今後、施設での看取りがこれから多くなるが、施設で緩和ケアをどうするか。**

→（老健相談員）特養だと麻薬を使いながらの看取りが出来ていたが、老健では介護報酬が包括の為薬価が高くて難しい。

→（講師）老健における疼痛コントロールの麻薬は診療報酬算定可能。



池垣淳一先生



斎藤優子氏



### 📎 第44回 在宅医療勉強会 📎

## チームで支える終末期

参加者：35名

長田区の番町診療所、松岡泰夫先生に「ターミナルケアとACPそしてグリーフケア」の多職種協働の看取りについて症例を交えてをご講演頂きました。また、神戸市斎園課の中村肇氏より「エンディングサポート事業説明」を賜りました。

〈質疑応答〉

**Q.ACPのシートを作成して「本人の大事にしているもの」「気持ち」「価値観」を紙で残しているのか。**

→シートは無い。本人や家族の気持ちをカルテに残している。

※神戸市が作成した「価値観シート」は、家族に聞きやすいので参考に。



松岡泰夫先生



### ☕ 第9回ケアカフェ ☕

## カスタマーハラスメント

～医療・介護現場から考える～

参加者：26名

兵庫県介護支援専門員協会副会長・本多間ケアホーム副施設長友清正雄氏よりご講演を賜り、事例を基にケアカフェを行いました。多職種のご参加があり、それぞれの立場から多くの意見交換が行われました。地域で連携して取り組んでいくことで、人材不足を防ぎ、地域で安心して介護サービスを提供できると思います。

〈カスタマーハラスメント対策についての意見〉

①個人情報の管理②組織のルールと規則③証拠の保全④コミュニケーションの透明性⑤研修と教育⑥法的対応



友清正雄氏

### 編集後記：

今年はとても暑くて長い夏を過ごし、急に冬が始まったように感じます。10月、5年ぶりに市民フォーラムの劇を開催しました。8月から練習を重ね、10月盛大に執り行うことが出来ました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。来年も、研修を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。